

令和 7 年度 指定管理者モニタリング年次報告・年度評価表

施設名及び担当課	徳島市立青少年交流プラザ ・ 徳島市教育委員会社会教育課
指定管理者名	公益財団法人徳島市体育振興公社
評価期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31 日（指定期間 1年目）
評価者	指定管理者
	担当課担当者

評価基準	(S): 月次評価が全てA評価以上であり、S評価がある。 (A): 月次評価が全てA評価以上である。 (B): 月次評価にB評価がある。		
評価項目	評価視点	指定管理者評価	担当課評価
I 業務履行の確認			
1 施設管理体制			
(1)法令等遵守	法令、協定書等を遵守し、適切な管理が行われているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点) 条例や同施行規則の主旨に則り、施設管理を実施		
(2)職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点) 講座や作業内容により、専門の知識や技術をもつ職員を計画的に配置		
(3)利用促進の取り組み	利用者拡大のために効果的な取り組みが行われているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点) SNSやホームページ、メディアを効果的に活用し、広く市民に平等な情報の提供に努めた		
(4)設備・備品管理	設備の管理や備品の保管等、取扱に問題はないか	S	S
	(主な実施事項及び改善点) 日々設備や備品について、チェックシートで点検整備を行い、安心安全な施設管理に努めた		
(5)安全管理体制	危険箇所はないか、また、安全面に配慮しているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点) チェックシートで点検を実施し、修繕は計画的に実施して、利用者や受講生の予防保全に努めた		
(6)緊急時の体制	災害等、緊急時を想定したマニュアル等があるか、また、緊急時の役割分担はできているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点) 避難、消防、不審者対応等の職員研修について、定期・継続的に実施し、緊急時に備えた		
2 利用者に関する業務			
(1)平等な利用	不当な利用制限や特定の利用者の優遇を行っていないか	A	A
	(主な実施事項及び改善点) 差別や不公平な利用制限をすることなく、24時間閲覧できるシステムを活用		
(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免等の手続きは適切か	A	A
	(主な実施事項及び改善点) 対応職員・施設長・総務部と重複したチェックを行い、適正な手続きを実施		
(3)接客対応	接客態度、苦情・要望等への対応は適切か	S	S
	(主な実施事項及び改善点) 職員の接遇・カスハラ研修等を実施し、利用者が快適に利用できるようスタッフの質を高めた		
(4)個人情報保護	個人情報は適正に管理されているか	A	A
	(主な実施事項及び改善点) 研修会等を実施し、施設長が責任をもって施錠して書類等の管理を徹底		
(5)サービス向上の取組	利用者ニーズを把握し、サービス向上の取組みが行われているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点) デジタルアンケートや聞き取り調査を定期的の実施し、改善できる点は迅速に対応		

3 施設維持管理業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、適切に行われているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点)		
	自主点検と基準に基づき、専門業者による保守点検を定期的を実施		
(2)清掃等維持管理業務	利用者に不便のないよう、適切に行われているか	A	A
	(主な実施事項及び改善点)		
	事業部に応援体制を組み、効率的に大規模清掃・修繕・備品整備等を実施		
(3)修繕等維持管理	修繕等は適切に行われているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点)		
	日常の点検を第一に、細かな修繕については職員が迅速に対応して施設の長寿命化に努めた		
4 実施事業			
(1)企画運営事業	計画どおり事業が行われているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点)		
	随時アンケートや聞き取りを実施し、内容等を定期的に見直ししながら計画どおりに実施		
(2)自主事業	施設の目的に沿って行われているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点)		
	地域の交流や青少年の健全な育成を目的とし、市民のニーズにあった事業を計画的に実施		
(3)関係団体との協力	関係団体、地域等との協力が適時行われているか	S	S
	(主な実施事項及び改善点)		
	B＆G財団や学校と連携し、青少年育成プログラムや指導者派遣にも積極的に取り組んだ		
II 経理状況			
(1)経理収支状況	帳簿管理や収支状況に問題はないか	A	A
	(主な実施事項及び改善点)		
	厳正な帳簿管理を徹底して実施		
(2)経費の縮減	経費の縮減への取組みが行われているか	A	A
	(主な実施事項及び改善点)		
	人員配置の効率化や省エネの推進、産業廃棄物の削減や再資源化等に努めた		
III その他			
今後の課題等	コロナ禍前と比べ、宿泊室の利用者の回復が60％程度で推移している。利用規約の改正等も行い利用者の安全を第一に考えた管理運営にシフトしていることも理由に挙げられると思うが、今後も教育機関等に働きかけるとともに、SNS等多様な媒体を活用し利用者の確保に努めていきたいと考える。また、施設整備についても計画的に進めていきたいと考える。		
IV 総合評価			
指定管理者の評価	施設管理や事業運営を安全に実行するため、今年度も継続して定期的に各種研修会に取り組んできた。利用者、職員ともに、「安全・安心・快適」に利用ができる施設としての、体制づくりや人材育成に今後も尽力していき、市民が集う社会教育施設としての役割を果たしていきたいと考える。		
担当課の評価	全体の利用者数について、前年度と比較すると、集会室はほとんど横ばいで変わらず順調であるが、宿泊数は伸び悩んでいる印象を受けた。利用者の安全を第一に考えた管理運営にシフトしているので、コロナ禍前のような回復は厳しいと思われるが、少しでも利用していただけるよう引き続き関係機関との連携やSNSを活用して施設サービスの周知・広報に努めてほしい。 今年度については、LEDの交換や網戸張り替え修繕を行い、少しではあるが安全な施設整備が進んだと思われる。どちらも、施設全体まで完了が及んでいないため、引き続き、施設管理者と市教育委員会で協力して計画的に進めていきたい。		
総合評価基準	(S)：個別の評価項目が全てA評価以上であり、S評価がある。 (A)：個別の評価項目が全てA評価以上である。 (B)：個別の評価項目にB評価がある。		
総合評価		S	S